

視察について

1 概要

(1) 視察目的

- ・本区では、昨年、基本計画2023を策定し、4つのリーディングプロジェクトを掲げ、中央区セントラルパーク構想の実現に向けて取り組んでいる。
- ・こうした中、本年3月に、区、住民代表者や関係事業者などで構成する「日本橋川水辺空間の整備推進に関する連絡会」にて、「首都高高架橋撤去後の日本橋川水辺空間の将来イメージ」を取りまとめた。
- ・将来イメージの実現に向かうとともに、日本橋川を世界に誇れる誰もが楽しめる都市空間としていくために、区長が海外の先進事例を視察したものである。

(2) 視察先

アメリカ合衆国イリノイ州シカゴ市

(3) 日程

令和6年6月8日（土曜日）から同月11日（火曜日）まで

2 視察で得られた知見

(1) 官民連携

- ・シカゴリバーウォークの整備や維持管理など、官と民がガイドライン等で共通認識を持ちながら取組を進めていた。



2 視察で得られた知見

(2) 水辺の歩行者ネットワークの連続性

・橋の下をくりながら全長約2kmのプロムナードが連続しており、歩きやすく快適な空間が整備されていた。



2 視察で得られた知見

(3) 水上交通

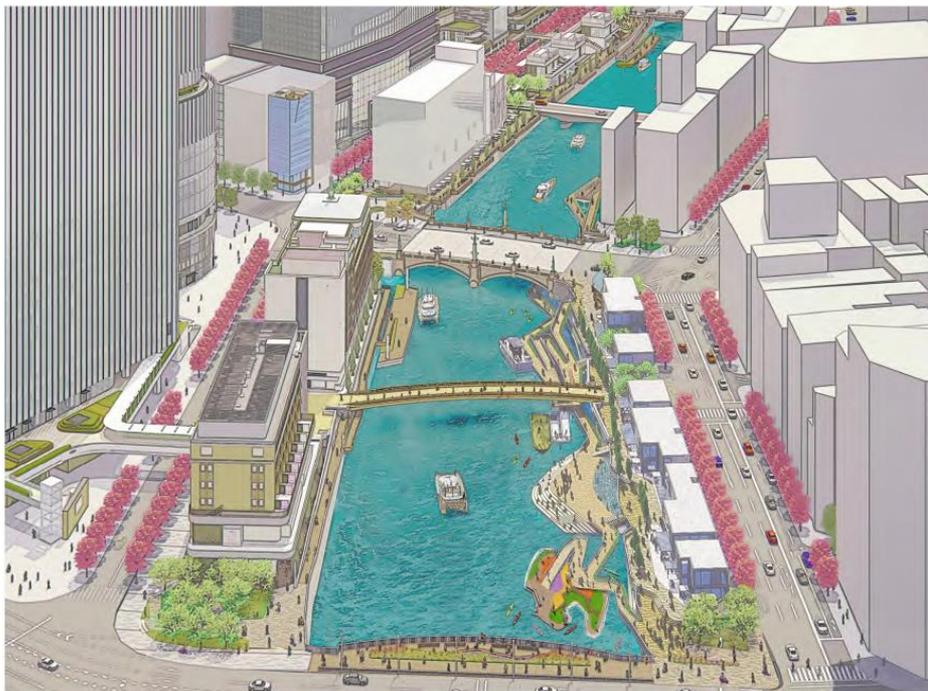
・観光船が運航されているとともに、カヤック体験も行われており、水上からも水辺空間を楽しみながら移動できる取組がなされていた。



3 視察を踏まえた今後の方向性

首都高高架橋撤去後の日本橋川水辺空間の将来イメージ

■親水空間の鳥瞰イメージ



※このイメージパースは、特定の場所の整備内容を示したものではありません。

※本イメージは、法規制や技術的な検証に基づくものではありません。

※洪水や高潮等に対する安全性の検証、水質改善や親水空間の検討などを踏まえ、関係者と検討を行う必要があります。

- (1) 引き続き、「日本橋川水辺空間の整備推進に関する連絡会」での情報共有や意見交換を行い、将来イメージの実現に向かって官民が連携して取り組んでいく。
- (2) 水辺の歩行者ネットワークの連続性が図られるよう、関係者と連携しながら法規制や技術的な検証、安全性の検討等に取り組んでいく。
- (3) 都内随一の水辺空間をいかして舟運を活性化し、船を新たな移動手段にするよう取り組んでいく。

出典：首都高高架橋撤去後の日本橋川水辺空間の将来イメージ
(令和6年3月 日本橋川水辺空間の整備推進に関する連絡会)